

# 令和4年度 森林及び林業の動向

第211回国会(常会)提出

# 第1部 森林及び林業の動向

はじめに	1
<b>特集 気候変動に対応した治山対策</b>	<b>3</b>
1. 森林の機能と治山事業の役割	4
(1) 国土を保全する森林の諸機能	4
(山地災害の多い我が国)	
(森林の有する国土保全機能の概要)	
(山地災害防止機能・土壌保全機能)	
(水源涵養機能)	
(その他の国土保全機能)	
(2) 森林の機能の維持・向上を図る治山事業	6
(治山事業の目的及び実施主体)	
(治山事業の工法)	
2. これまでの治山事業の取組と成果	8
(1) 森林荒廃・山地災害多発への対応	8
(江戸時代までの森林をめぐる情勢)	
(明治時代における森林をめぐる情勢と治山事業の始まり)	
(戦中・戦後の森林荒廃・山地災害多発への対応)	
(戦後の治山対策の発展)	
(2) 治山対策と森林整備による山地災害の減少	12
(森林の回復により表面侵食は減少)	
(地域単位でみた治山対策の効果)	
(全国的に山地災害の発生は減少)	
3. 気候変動による山地災害の激甚化・形態変化	16
(1) 気候変動による大雨等の増加	16
(降水形態の変化)	
(気候変動による影響の将来予測)	
(2) 山地災害の激甚化・形態変化とその対応方針	17
(山地災害の激甚化・形態変化の分析)	
(ア) 表層よりもやや深い層からの崩壊の発生	18
(イ) 溪流の縦横侵食量の増加	19
(ウ) 線状降水帯の発生等による山地災害の同時多発化	19
(エ) 洪水被害・流木災害の激甚化	20
4. 気候変動等に対応したこれからの治山対策	21
(1) 国土強靱化基本計画等での位置付け	21
(防災・減災、国土強靱化に向けた取組)	
(森林・林業基本計画での位置付け)	

(2) 具体的な取組	21
(国土強靱化のための治山対策の推進)	
(流域治水との連携)	
(治山施設の長寿命化対策)	
(新たな技術を活用した効果的・効率的な取組)	
(山地災害に関する情報の提供)	
5. 森林・林業施策全体で進める災害に強い地域づくり	25
(多様な森林づくりと森林計画制度に基づく森林施業等の推進)	
(災害に強い路網の整備)	
(気候変動対策への貢献)	
(「緑の社会資本」としての森林)	
<b>トピックス</b>	27
1. 太陽光発電の適正な導入に向けた林地開発許可制度の見直し	29
2. しいたけの植菌地を原産地とする表示がスタート	30
3. 林業従事者が生きがいを持って働ける魅力ある林業へ ～「林業労働力の確保の促進に関する基本方針」の変更～	31
4. J-クレジット制度の活用等を通じて森林整備と企業等の脱炭素の 取組の好循環を創出	32
5. 国有林野における樹木採取権制度による事業がスタート	34
<b>第1章 森林の整備・保全</b>	37
1. 森林の適正な整備・保全の推進	38
(1) 我が国の森林の状況と多面的機能	38
(我が国の森林の現状)	
(森林の多面的機能)	
(SDGsや2050年カーボンニュートラル、GXに貢献する森林・林業・木材産業)	
(2) 森林の適正な整備・保全のための森林計画制度	41
(ア) 森林・林業基本計画	41
(森林・林業施策の基本的な方向を明示)	
(森林の有する多面的機能の発揮並びに林産物の供給及び利用に関する目標)	
(森林及び林業に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策)	
(イ) 全国森林計画・地域森林計画等	42
(全国森林計画等)	
(地域森林計画等)	
(3) 研究・技術開発及び普及の推進	43
(研究・技術開発のための戦略及び取組)	
(「林業イノベーション現場実装推進プログラム」のアップデート)	
(「グリーン成長戦略」や「みどりの食料システム戦略」によるイノベーションの 推進)	

(林業普及指導事業の実施等)	
<b>2. 森林整備の動向</b> .....	47
(1) 森林整備の推進状況 .....	47
(森林整備による健全な森林づくりの必要性)	
(地球温暖化対策としての森林整備の必要性)	
(森林整備の実施状況)	
(適正な森林施業の確保等のための措置)	
(2) 優良種苗の安定的な供給.....	48
(優良種苗の安定供給)	
(成長等に優れた苗木の供給に向けた取組)	
(花粉発生源対策)	
(3) 路網の整備 .....	50
(路網整備の現状と課題)	
(望ましい路網整備の考え方)	
(路網整備を担う人材育成)	
(4) 森林経営管理制度及び森林環境税.....	51
(ア) 森林経営管理制度 .....	51
(制度の概要)	
(制度の進捗状況)	
(イ) 森林環境税・森林環境譲与税 .....	53
(税制の概要)	
(森林環境譲与税の用途と活用状況)	
(ウ) 市町村に対する支援 .....	56
(5) 社会全体で支える森林づくり .....	56
(全国植樹祭と全国育樹祭)	
(多様な主体による森林づくり活動が拡大)	
(森林吸収量等森林のカーボンニュートラル貢献価値の見える化)	
(森林関連分野のクレジット化等の取組)	
(森林環境教育の推進)	
(「緑の募金」による森林づくり活動の支援)	
<b>3. 森林保全の動向</b> .....	61
(1) 保安林等の管理及び保全.....	61
(保安林)	
(林地開発許可)	
(盛土等の安全対策)	
(2) 山地災害等への対応 .....	63
(山地災害等への迅速な対応)	
(山地災害からの復旧)	
(治山事業の実施)	
(防災・減災、国土強靱化に向けた取組)	

(海岸防災林の整備)	
(3) 森林における生物多様性の保全	65
(生物多様性保全の取組を強化)	
(我が国の森林を世界遺産等に登録)	
(4) 森林被害対策の推進	66
(野生鳥獣による被害の状況)	
(野生鳥獣被害対策を実施)	
(「松くい虫」による被害)	
(ナラ枯れ被害の状況)	
(外来カミキリムシの確認)	
(林野火災の状況)	
(森林保険制度)	
<b>4. 国際的な取組の推進</b>	<b>71</b>
(1) 持続可能な森林経営の推進	71
(世界の森林は依然として減少)	
(「持続可能な森林経営」に関する国際的議論)	
(持続可能な森林経営の基準・指標)	
(森林認証の取組)	
(我が国における森林認証の状況)	
(2) 地球温暖化対策と森林	74
(気候変動に関する政府間パネルによる科学的知見)	
(国連気候変動枠組条約の下での気候変動対策)	
(地球温暖化対策計画と2030年度森林吸収量目標)	
(開発途上国の森林減少・劣化に由来する排出の削減等(REDD+)への対応)	
(気候変動への適応)	
(3) 生物多様性に関する国際的な議論	76
(4) 我が国の国際協力	77
(我が国の取組)	
(国際機関を通じた取組)	
<b>第II章 林業と山村(中山間地域)</b>	<b>79</b>
<b>1. 林業の動向</b>	<b>80</b>
(1) 林業生産の動向	80
(木材生産の産出額の推移)	
(国産材の素材生産量の推移)	
(素材価格の推移)	
(山元立木価格は上昇)	
(2) 林業経営の動向	82
(林家)	
(林業経営体)	

(林業経営体の作業面積)	
(林業経営体による素材生産量は増加)	
(林業所得に係る状況)	
(森林組合の動向)	
(民間事業体の動向)	
(林業経営体の経営力の強化)	
(3) 林業労働力の動向	88
(林業労働力の現状)	
(林業労働力の確保)	
(高度な知識と技術・技能を有する従事者育成)	
(林業大学校等での人材育成)	
(安全な労働環境の整備)	
(林業労働災害の特徴に応じた対策)	
(雇用環境の改善)	
(林業活性化に向けた現場及び普及活動における女性の取組)	
(4) 林業経営の効率化に向けた取組	94
(山元立木価格に対して造林初期費用は高い)	
(ア) 施業の集約化	95
(施業の集約化の必要性)	
(森林経営計画)	
(所有者不明森林の課題)	
(所有者特定、境界明確化等の森林情報の把握に向けた取組)	
(林地台帳制度)	
(森林情報の高度利用に向けた取組)	
(施業集約化を担う人材)	
(イ) 「新しい林業」に向けて	98
(「新しい林業」への取組)	
(高性能林業機械と路網整備による素材生産コストの低減)	
(造林・育林の省力化と低コスト化に向けた取組)	
(「新しい林業」を支える先端技術等の導入)	
<b>2. 特用林産物の動向</b>	<b>102</b>
(1) きのこと類等の動向	102
(特用林産物の生産額)	
(きのこと類の生産額等)	
(きのこと類の安定供給に向けた取組)	
(きのこと類の消費拡大に向けた取組)	
(きのこと類の輸出拡大に向けた取組)	
(2) 薪炭・竹材・漆の動向	104
(薪炭の動向)	
(竹材の動向)	

(漆の動向)	
<b>3. 山村(中山間地域)の動向</b> .....	107
(1)山村の現状 .....	107
(山村の役割と特徴)	
(過疎地域等の集落の状況)	
(2)山村の活性化.....	108
(山村の内発的な発展)	
(山村地域のコミュニティの活性化)	
(多様な森林空間利用に向けた「森林サービス産業」の創出)	
<b>第III章 木材需給・利用と木材産業</b> .....	113
<b>1. 木材需給の動向</b> .....	114
(1)世界の木材需給の動向 .....	114
(ア)世界の木材需給の概況.....	114
(世界の木材消費量及び生産量)	
(世界の木材輸入量の動向)	
(世界の木材輸出量の動向)	
(イ)2021年の各地域における木材需給の動向 .....	114
(米国の動向)	
(欧州の動向)	
(東南アジアの動向)	
(ニュージーランドの動向)	
(中国の動向)	
(ウ)国際貿易交渉の動向 .....	116
(2)我が国の木材需給の動向.....	117
(木材需要は回復傾向)	
(国産材供給量は増加傾向)	
(木材輸入)	
(ロシア・ウクライナ情勢の影響)	
(木材自給率は4割を維持)	
(3)木材価格の動向.....	121
(国産材の製材品価格等)	
(国内の素材価格)	
(4)違法伐採対策.....	122
(世界の違法伐採木材の貿易の状況)	
(政府調達において合法性・持続可能性が確保された木材等の利用を促進)	
(「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」による 合法伐採木材等の更なる活用)	
(国際的な取組)	



<b>2. 木材利用の動向</b> .....	125
(1)木材利用の意義.....	125
(2)建築分野における木材利用.....	126
(ア)建築分野における木材利用の概況.....	126
(建築物の木造率)	
(建築物全般における木材利用の促進)	
(イ)住宅分野における木材利用の動向.....	126
(住宅分野における木材利用の概況)	
(住宅向けの木材製品への品質・性能に対する要求)	
(地域で流通する木材を利用した住宅の普及)	
(ウ)非住宅・中高層建築物における木材利用の動向.....	128
(非住宅・中高層建築物における木材利用の概況)	
(非住宅・中高層建築物での木材利用拡大の取組)	
(エ)公共建築物等における木材利用.....	132
(公共建築物の木造化・木質化の実施状況)	
(学校等の木造化・木質化を推進)	
(応急仮設住宅における木材の活用)	
(3)木質バイオマスの利用.....	134
(ア)木質バイオマスの新たなマテリアル利用.....	134
(イ)木質バイオマスのエネルギー利用.....	135
(木質バイオマスエネルギー利用の概要)	
(木質バイオマスエネルギー利用量の概況)	
(木質バイオマスによる発電の動き)	
(燃料材の安定供給等に向けた取組)	
(木質バイオマスの熱利用)	
(「地域内エコシステム」の構築)	
(4)消費者等に対する木材利用の普及.....	139
(「木づかい運動」を展開)	
(表彰に係る取組の展開)	
(「木育」 <sup>もくいく</sup> の取組の広がり)	
(木材利用における林福連携の取組)	
(5)木材輸出の取組.....	142
(木材輸出の概況)	
(木材輸出拡大に向けた方針)	
(具体的な輸出の取組)	
<b>3. 木材産業の動向</b> .....	144
(1)木材産業の概況.....	144
(木材産業の概要)	
(木材産業の生産規模)	
(2)木材産業の競争力の強化.....	145



(国際競争力の強化)	
(地場競争力の強化)	
(品質・性能の確かな製品の供給)	
(原木の安定供給体制の構築に向けた取組)	
(3)国産材活用に向けた製品・技術の開発・普及	149
(大径材の利用に向けた取組)	
(CLTの利用と普及に向けた動き)	
(木質耐火部材の開発)	
(その他の非住宅・中高層建築物での木材利用に向けた技術開発)	
(リフォーム・家具分野における需要拡大)	
(4)木材産業の各部門の動向	152
(ア)製材業	152
(製材品生産の概要)	
(大規模製材工場に生産が集中)	
(イ)集成材製造業	155
(集成材製造業の概要)	
(集成材の動向)	
(ウ)合板製造業	155
(合板製造業の概要)	
(合板の動向)	
(エ)木材チップ製造業	157
(木材チップ製造業の概要)	
(木材チップの動向)	
(オ)パーティクルボード製造業・繊維板製造業	157
(パーティクルボード製造業・繊維板製造業の概要)	
(パーティクルボード・繊維板の動向)	
(カ)プレカット製造業	158
(プレカット材の概要)	
(プレカット材の動向)	
(キ)木材流通業	158
(木材流通業の概要)	
(木材市売市場の動向)	
(木材販売業者の動向)	

<b>第IV章 国有林野の管理経営</b>	161
<b>1. 国有林野の役割</b>	162
(1)国有林野の分布と役割	162
(2)国有林野の管理経営の基本方針	162
<b>2. 国有林野事業の具体的取組</b>	164
(1)公益重視の管理経営の一層の推進	164

(ア)重視すべき機能に応じた管理経営の推進	164
(重視すべき機能に応じた森林の区分と整備・保全)	
(治山事業の推進)	
(路網整備の推進)	
(イ)地球温暖化対策の推進	164
(ウ)生物多様性の保全	165
(国有林野における生物多様性の保全に向けた取組)	
(保護林の設定)	
(緑の回廊の設定)	
(世界遺産等における森林の保護・管理)	
(希少な野生生物の保護等)	
(鳥獣被害対策等)	
(エ)民有林との一体的な整備・保全	168
(公益的機能維持増進協定の推進)	
(2)森林・林業の再生への貢献	169
(低コスト化等の実践と技術の開発・普及)	
(民有林と連携した施業)	
(森林・林業技術者等の育成)	
(森林経営管理制度への貢献)	
(樹木採取権制度の推進)	
(林産物の安定供給)	
(3)「国民の森林」 <sup>もり</sup> としての管理経営等	172
(ア)「国民の森林」 <sup>もり</sup> としての管理経営	172
(国有林野事業への理解と支援に向けた多様な情報受発信)	
(森林環境教育の推進)	
(NPO、地域、企業等との連携)	
(イ)地域振興への寄与	173
(国有林野の貸付け・売払い)	
(公衆の保健のための活用)	
(観光資源としての活用の推進)	
<b>第V章 東日本大震災からの復興</b>	177
<b>1. 復興に向けた森林・林業・木材産業の取組</b>	178
(1)東日本大震災からの復興に向けて	178
(2)森林等の被害と復旧・復興	178
(ア)山地災害等と復旧状況	178
(イ)海岸防災林の復旧・再生	178
(復旧に向けた方針)	
(植栽等の実施における民間団体等との連携)	
(3)林業・木材産業の被害と復旧状況	180

(林業・木材産業の被害)	
(林業の復旧)	
(木材産業の復旧)	
(4) 復興への木材の活用と森林・林業・木材産業の貢献	181
(ア) まちの復旧・復興に向けた木材の活用	181
(応急仮設住宅における木材の活用)	
(災害公営住宅における木材の貢献)	
(公共施設等での木材の活用)	
(イ) エネルギー安定供給に向けた木質バイオマスの活用	181
(ウ) 新たな木材工場の稼働	182
<b>2. 原子力災害からの復興</b>	<b>183</b>
(1) 森林の放射性物質対策	183
(ア) 森林内の放射性物質に関する調査・研究	183
(森林においても空間線量率は減少)	
(森林内の放射性物質の分布状況の推移)	
(森林整備等に伴う放射性物質の移動)	
(ぼう芽更新木等に含まれる放射性物質)	
(情報発信等の取組)	
(イ) 林業の再生及び安全な木材製品の供給に向けた取組	184
(福島県における素材生産量の回復)	
(林業再生対策の取組)	
(里山の再生に向けた取組)	
(林内作業者の安全・安心対策の取組)	
(木材製品や作業環境等の安全証明対策の取組)	
(樹皮の処理対策の取組)	
(しいたけ等原木が生産されていた里山の広葉樹林の再生に向けた取組)	
(2) 安全な特用林産物の供給	186
(栽培きのこの生産状況)	
(きのこ原木等の安定供給に向けた取組)	
(きのこ等の放射性物質低減に向けた取組)	
(野生きのこ、山菜等の状況)	
(薪、木炭、木質ペレットの指標値の設定)	
(3) 損害の賠償	188

## 事例一覧

### 特集

- 事例特－1 令和3年8月の大雨で孤立集落解消のため林道を代替路として活用……26

### 第Ⅰ章

- 事例Ⅰ－1 林業普及指導員の取組事例……46  
 事例Ⅰ－2 地域に応じた森林経営管理制度の取組……54  
 事例Ⅰ－3 森林環境譲与税を活用した取組……55  
 事例Ⅰ－4 林家によるシカ被害対策の取組……67  
 事例Ⅰ－5 国際連合食糧農業機関(FAO)を通じた国際的山地流域  
 強<sup>じん</sup>靱化の取組……78

### 第Ⅱ章

- 事例Ⅱ－1 経営基盤強化に向けた取組……87  
 事例Ⅱ－2 林福連携による新たな担い手確保……90  
 事例Ⅱ－3 広葉樹を活用した通年雇用の取組事例……93  
 事例Ⅱ－4 ドローン導入による苗木運搬省力化の取組……99  
 事例Ⅱ－5 苗木生産から造林までの一貫体制の構築……100  
 事例Ⅱ－6 学校での植菌体験や給食を通じた原木しいたけの普及活動……103  
 事例Ⅱ－7 株式会社ディーエルディーにおける薪の宅配サービス……106  
 事例Ⅱ－8 和歌山県における「わかやま林業移住」の取組……108  
 事例Ⅱ－9 宮崎県上鹿川<sup>かみししがわ</sup>における広葉樹の活用事例……109  
 事例Ⅱ－10 森林整備から始まる関係人口・定住人口の拡大……110  
 事例Ⅱ－11 多様な地域主体と取り組む滞在型ツアーと健康効果……112

### 第Ⅲ章

- 事例Ⅲ－1 国際熱帯木材機関(ITTO)への拠出によるコンゴ盆地諸国における合法性・持続可能性のある木材利用促進のための能力開発活動……124  
 事例Ⅲ－2 地元産材を活用した木質バイオマス発電所による熱電併給……138  
 事例Ⅲ－3 木づかいシンポジウム2022……140  
 事例Ⅲ－4 大径材加工機導入による国産羽柄材製品の供給力拡大……146  
 事例Ⅲ－5 スギの大断面製材を製造し自社で施工する大規模木造建築に活用……150  
 事例Ⅲ－6 スギ大径材を活用したツーバイフォー材と輸出用外構材の製造……151  
 事例Ⅲ－7 輸入木材の入手難を踏まえ、原料を輸入丸太から  
 国産丸太に転換……153

---

## 第Ⅳ章

- 事例Ⅳ－1 多様な森林づくり「見える化プロジェクト」…………… 165
- 事例Ⅳ－2 令和4(2022)年8月3日からの大⾬等に係る国有林の対応 …… 166
- 事例Ⅳ－3 ブナの北限に位置する渡島半島に広大な保護林が誕生 …… 168
- 事例Ⅳ－4 三重県林業研究所との連携による林業の採算性の向上に  
向けた取組 …… 170
- 事例Ⅳ－5 高品質ブランド材規格の新たな制定及び供給…………… 172
- 事例Ⅳ－6 オフィシャルサポーターの支援による木製遊歩道の整備…………… 175

## 第Ⅴ章

- 事例Ⅴ－1 ボランティアによる海岸林の整備 …… 179

## コラム一覧

海岸防災林造成の取組	15
「農林水産祭」における天皇杯等三賞の授与	35
森林×脱炭素チャレンジ	36
国立研究開発法人森林研究・整備機構の研究成果	44
花粉の少ない苗木の開発・普及	50

## 第2部 令和4年度 森林及び林業施策

概説	193
1 施策の重点(基本的事項)	193
2 財政措置	194
3 税制上の措置	195
4 金融措置	196
5 政策評価	196
<b>I 森林の有する多面的機能の発揮に関する施策</b>	<b>197</b>
1 適切な森林施業の確保	197
2 面的なまとまりをもった森林管理	197
3 再造林の推進	198
4 野生鳥獣による被害への対策の推進	198
5 適切な間伐等の推進	198
6 路網整備の推進	198
7 複層林化と天然生林の保全管理等の推進	199
8 カーボンニュートラル実現への貢献	199
9 国土の保全等の推進	200
10 研究・技術開発及びその普及	201
11 新たな山村価値の創造	202
12 国民参加の森林づくり等の推進	203
13 国際的な協調及び貢献	203
<b>II 林業の持続的かつ健全な発展に関する施策</b>	<b>204</b>
1 望ましい林業構造の確立	204
2 担い手となる林業経営体の育成	205
3 人材の育成・確保等	206
4 林業従事者の労働環境の改善	206
5 森林保険による損失の補填	207
6 特用林産物の生産振興	207
<b>III 林産物の供給及び利用の確保に関する施策</b>	<b>207</b>
1 原木の安定供給	207
2 木材産業の競争力強化	207
3 都市等における木材利用の促進	208
4 生活関連分野等における木材利用の促進	209
5 木質バイオマスの利用	209



## 目次

6	木材等の輸出促進	209
7	消費者等の理解の醸成	209
8	林産物の輸入に関する措置	210
<b>IV</b>	<b>国有林野の管理及び経営に関する施策</b>	<b>210</b>
1	公益重視の管理経営の一層の推進	210
2	森林・林業の再生への貢献	211
3	「国民の森林」としての管理経営と国有林野の活用	212
<b>V</b>	<b>その他横断的に推進すべき施策</b>	<b>213</b>
1	デジタル化の推進	213
2	新型コロナウイルス感染症への対応	213
3	東日本大震災からの復興・創生	213
<b>VI</b>	<b>団体に関する施策</b>	<b>214</b>

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



注1：本報告に掲載した我が国の地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではありません。

注2：森林・林業・木材産業とSDGsの関わりを示すため、特に関連の深い目標のアイコンを付けています。（関連する目標全てを付けているものではありません。）